

鳥取手仕事産業振興方策に関する提案

平成18年1月

中国経済連合会

鳥取大学地域学部霜田研究室

提 案

山陰地域を取り巻く状況は、少子・高齢化の進展、経済のソフト化や高度情報通信の急速な進展、中国・韓国など周辺諸国との環日本海交流時代の到来などにより、大きく変化しつつあります。

また、地域分権化の流れの中で、山陰地域の産業・社会が自立的・持続的に発展していくためには、状況変化への迅速かつ的確な対応とともに、人・地域・環境を大切にする 21 世紀型の産業創出や、これまで以上に地域の特色を活かした地域密着型の産業振興、また人々が生き生きと働くことができる雇用機会の創出が一層重要な課題となっています。

中国経済連合会では、平成 15 年 2 月、「山陰地域の産業振興に関する提言」をとりまとめ、そのなかで、地場産業振興の観点から、山陰地域に数多く存在する工芸技術や専門技術・技能を持つ匠の地域づくりを提言したところであります。

そこで、「匠の地域づくり研究会」(座長：霜田 稔鳥取大学地域学部教授)を設置し検討した結果を踏まえ、鳥取手仕事産業振興方策に関する提案としてとりまとめました。

関係各位におかれましては、本提案の主旨をご理解いただき、実現に向けて諸施策に反映していただきますとともに、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

現在，消滅の危機にある手仕事産業振興の具体的方策について，次のプロジェクトを推進することを提案する。

1．保全型プロジェクト

現存する手仕事の技術の保存・継承を主たる目的として，古民家維持再生事業，文化財修復，伝統的石砂庭園事業などを推進する。

2．創造的プロジェクト（新商品開発）

鳥取新様式製品開発，公共空間鳥取様式創造などを推進するとともに，手仕事ワークの導入を図る。

3．手仕事参加支援会社プロジェクト

鳥取新様式製品開発や公共空間鳥取様式など，商品開発体制を構築するため，地域において鳥取新様式開発株式会社の設立を検討する。

4．人材養成プロジェクト

職人の養成や商品のプロデュースなど商品企画人材の養成を図るための学校設立および，伝統技術を活用した商品を展示する博物館・美術館機能の強化を推進するため，ユーザーと職人の組織化を図るとともに，地域づくり運動，地産地消運動，地域づくり教育運動などの連携を推進する。

この中に，手仕事産業支援のプロデューサーを設置する。

平成18年1月

中国経済連合会

会 長 高 須 司 登

副会長 八 村 輝 夫

副会長 米 原 正 博

副会長 丸 磐 根

副会長 皆 美 健 夫

鳥取大学地域学部霜田研究室

教 授 霜 田 稔